



# あすなろ通信

1月  
2024年  
1月号  
January



年始めの災害、事故を乗り越えて、明るく、平和な1年になりますように！

## 今月の行事



## 活動の様子

- 9日(火) 小中学校3学期始業式  
あすなろ教室スタート
- 12日(金) スケート(第2班)
- 15日(月) カウンセリング
- 16日(火) 外国語活動
- 17日(水) 理科学習
- 22日(月) ヨガ
- 23日(火) 午後活動開始

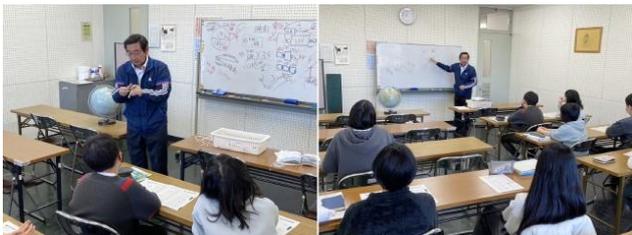
3学期  
スタート



花壇の花も、春を待っています。



理科学習



スケート(第2班)に行って来ました。



外国語学習



## 3学期の主な行事予定

2月

- 1日(木)～20日(火) 保護者個別懇談会
- 5日(月) カウンセリング
- 6日(火) 外国語活動
- 8日(木) 美術活動
- 9日(金) スポーツ活動
- 16日(金) 遠足(科学博物館)
- 21日(水) 理科学習
- 21日(水)～3月12日(火) 小中担任連絡会

3月

- 1日(金) 食育
- 4日(月) カウンセリング
- 7日(木)・8日(金) 県立高校入試
- 14日(木) あすなろお別れ会
- 15日(金) 中学校卒業式(チャレンジデー)
- 18日(月) 県立高校合格発表
- 22日(金) 小学校卒業式(チャレンジデー)  
※あすなろ教室活動最終日
- 25日(月) 小中学校修了式(チャレンジデー)



※中3は、3月14日(木)が活動最終日です。  
※小6は、3月21日(木)が活動最終日です。

【特別コラム】 今月号のコラムは、新居浜市出身の作家、井川香四郎さんが「あすなろ教室」の子どもたちへのメッセージとして寄稿して下さったコラムです。

### 「同情する力」

食欲や睡眠欲と同じように、人間には”同情欲”という本能が備わっています。だから、遠い国の戦争のことで心を痛めたり、虚構の物語でも悲しんだり、知らない人が事故に遭ったらすぐに助けたりします。動物にはない感情です。この前、18歳の老犬が亡くなりましたが、長年一緒に遊んでいた他の犬や猫は見向きもしません。

でも、人の脳には、まったく知らない他人に同情する仕組みがあって、どんなに自分勝手な人でも、4割くらいは他人のために行動すると、著名な心理学者のケトルナー博士は分析しています。

話は変わりますが、私の長男は不登校の時期がありました。朝起きられない、嫌な先輩がいる、授業がつまらない……など幾つかの理由がありました。でも、不思議と友達と遊ぶのは大好きで、放課後のクラブ活動に行ったり、空手道場で稽古をしたり、学習塾に通ったりしていました。

どうしても学校に行かなければならないという理由を、見つけられなかったそうです。規則が厳しいとか、習慣が面倒くさいとかかもしれません。でも、そんなことは、文豪のヘルマン・ヘッセも子供の頃はそうでした。学校から抜け出して旅に出たりしたのです。

そのヘッセは、行儀良く生きたり、お金や物を沢山持ったりしても、決して幸せになれないと気付きました。では、どんな人が幸せになれるのでしょうか。

答えは、人を沢山愛せる人——です。つまり、同情欲が強くて、大切な人はもちろん、友達や色々な人の役に立つことをしたり、手助け出来る人が、真の幸福感を得られるというのですね。

人だけに備わっている同情欲を磨くためには、物語でもドキュメンタリーでもいいから、読書がよいそうです。読むという行為は、映画や芝居を受け身で観るだけよりも、自ら深く考えて理解しようとするので、より人の気持ちが分かるようになるからです。

幸い私の長男は小さい頃から本を読むのが好きだったので、不登校の時期には色々な本を沢山読みました。そして、ヘッセではないけれど、人の役に立ちたいと思うようになったそうです。不登校児童だったのに、後に学校の先生になりました。その理由は、不登校になる子や学校に馴染まない子の気持ちがよく分かるからだとか。支援学級において、児童ひとりひとりにふさわしい指導ができたときには望外の喜びがあるそうです。

弱肉強食がこの世界の仕組みだという進化論を唱えたダーウィンですら、人には同情心があって、そういう人が沢山いる地域社会が繁栄し、多くの子孫を残すと言っています。文豪と科学者は同じ思いだったのですね。どんな小さなことでもいいので、人に心を寄せたり優しくすることを心がけてみるだけで、じぶんの”同情力”が増えていって、みんなが幸せになれると思います。

◇井川香四郎さんのプロフィール◇ ※新居浜市ホームページより

1957年愛媛県新居浜市生まれ。

テレビ時代劇「暴れん坊将軍」「銭形平次」「逃亡者おりん」などの脚本を務め、「露の五郎兵衛」で小説Club新人賞を受賞。日本を代表する時代小説作家として活躍されている。

また、平成29年5月には新居浜市とのコラボレーション企画として、別子太平記「愛媛新居浜別子銅山物語」を出版。



「あすなろ教室」

TEL 0897-37-7474

FAX 0897-32-6822

e-mail [asunaro@city.niihama.lg.jp](mailto:asunaro@city.niihama.lg.jp)

